

読者からのハガキから



ラくろう! おれたちの雑誌を。

かく、おの師匠のトロもお凶で生
ぬしていかなければならぬ。一般
サラリーマンにもなれ、ヒーロー
この由を生ぬしながい何か即
り切れない気持で生きてくる自
かによじ教訓をあたえてくれた
と感謝しております。

「何れ読むか」と私に聞かれて、友人が
「本、DVDよりパンフレット
のうちに見えたのですが、それ
より「新希望論」に書かれた
表紙にその氣勢は向かぬに違
へども、何うなにかして親しみ感じ
られるべきような親しみ感じ
が最も商業意識のはなし、次
のほほの人間の姿、文章はとも
かく、ある事情で人の悲鳴を生
ましてもうつにならざり一般
サラリーマンにもなし、ビニッ
ヒーの中では済しながり何せ
リ切れなごろ待て庄きこじる自
由に身にご教訓をあたえられて
と感想しております。
これからもよろしく、

5月号(第6号)もくじ

卷之二

大谷正夫

卷之二

《愚公移山》

＝进（行）＝行（进）也可以说

卷之三

上卷

卷之三

『一ノコースカ話』「痴女語」、「痴女語」など。

《連載》續集 | 六朝上等藏書(6)

41 34

5月号(第6号)もくじ

ノーリング

2018 4

22

26

28

51

38

七

一
「寄」
七

動(6) 蜂